



ヒューマンライフ シンポジウム 2025

～未来へつなぐメッセージ～



【第1部】基調講演

ジェンダー平等な社会をつくるために
ー過去・現在、そして未来に向けて、
私たちにできることー

講師：茨城大学
人文社会科学野

ながた はなこ
長田 華子 准教授

【第2部】高校生が考えるジェンダー平等

高校生たちが、

「どのようにしたら
ジェンダー平等な社会を実現できるのか」

について、ワークショップで考えた意見や提案を発表します！



開催
日時

令和7年9月27日(土)

開演：14:00-16:00 (開場：13:30)

会場

水戸市民会館4階
ユードムホール (中ホール)

(水戸市泉町1丁目7番1号) ※裏面地図参照

※お車でのご来場の際は、近隣の有料パーキングをご利用ください。

主催：水戸市 企画運営：特定非営利活動法人M・I・T・O 21

入場無料

要約筆記※あり
※文字で伝える通訳

- 定員：300名 (定員になり次第締切り)
- 申込期間：令和7年8月12日(火)
～令和7年9月25日(木)
- 申込方法：右記の二次元コード
から申込み



～未来へつなぐメッセージ～

【第1部】基調講演

講師プロフィール

長田 華子（ながた はなこ）氏／茨城大学人文社会科学野准教授

東京都生まれ。専門はアジア経済論、南アジア地域研究、ジェンダー論。お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科修了（博士：社会科学）、日本学術振興会特別研究員（PD・東京大学社会科学研究所）を経て、2014年より現職。バングラデシュ、インド、日本における縫製産業と女性労働者に関する研究に加え、ジェンダーの視点から経済学をとらえる、フェミニスト経済学に関する研究に精力的に取り組む。2023年には、共編著として、日本で初めてのフェミニスト経済学のテキスト、『フェミニスト経済学—経済社会をジェンダーでとらえる』（共編著、有斐閣）を刊行。その他の主な著書として『990円のジーンズがつくられるのはなぜ？—ファストファッションの工場で起こっていること』（合同出版、2016年）などがある。



【第2部】高校生が考えるジェンダー平等

高校生たちが、8月に開催したワークショップに参加しました。ワークショップでは、長田華子准教授を講師に迎え、准教授のゼミナール所属学生の協力も得ながら、最も身近な場所である学校や家庭に加えて、ファッションや恋愛、スポーツ、政治、経済といった様々な領域におけるジェンダー格差の実態を理解するとともに、「どのようにしたらジェンダー平等な社会を実現できるのか」を、一緒に考えてきました。その想いと意見や提案を、熱く発表します！



申込
方法

いばらき電子申請・届出サービスからの申込み

https://apply.e-tumo.jp/city-mito-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=75448

※ご登録いただいたアドレスに送信された「申込完了通知メール」を確認させていただく場合がございます。



※お車で越しの際は、近隣の有料パーキングをご利用ください。



水戸市民会館周辺地図

ヒューマンライフシンポジウム2025のお問合せは

水戸市男女平等参画課

〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号 TEL: 029-226-3161